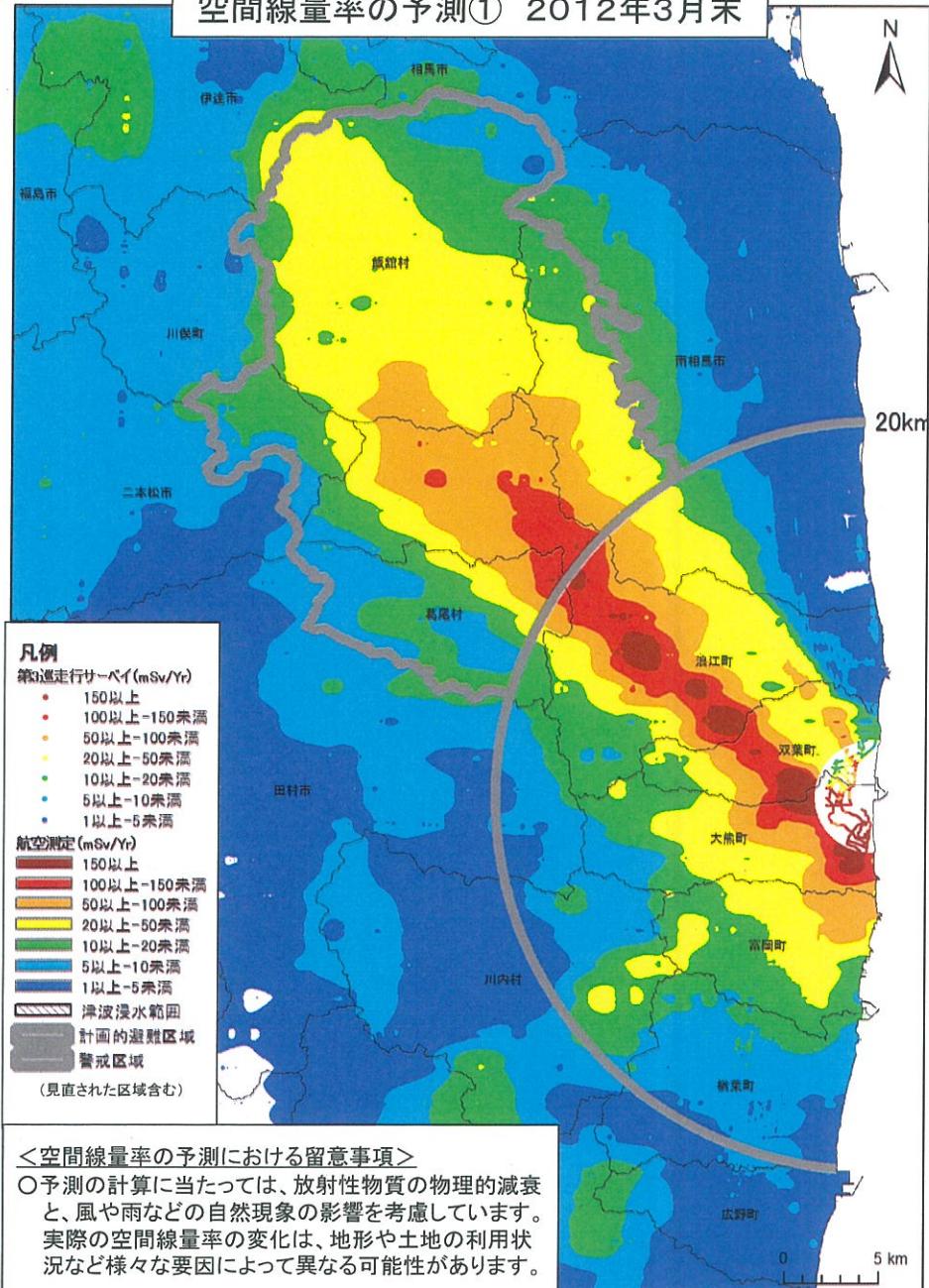
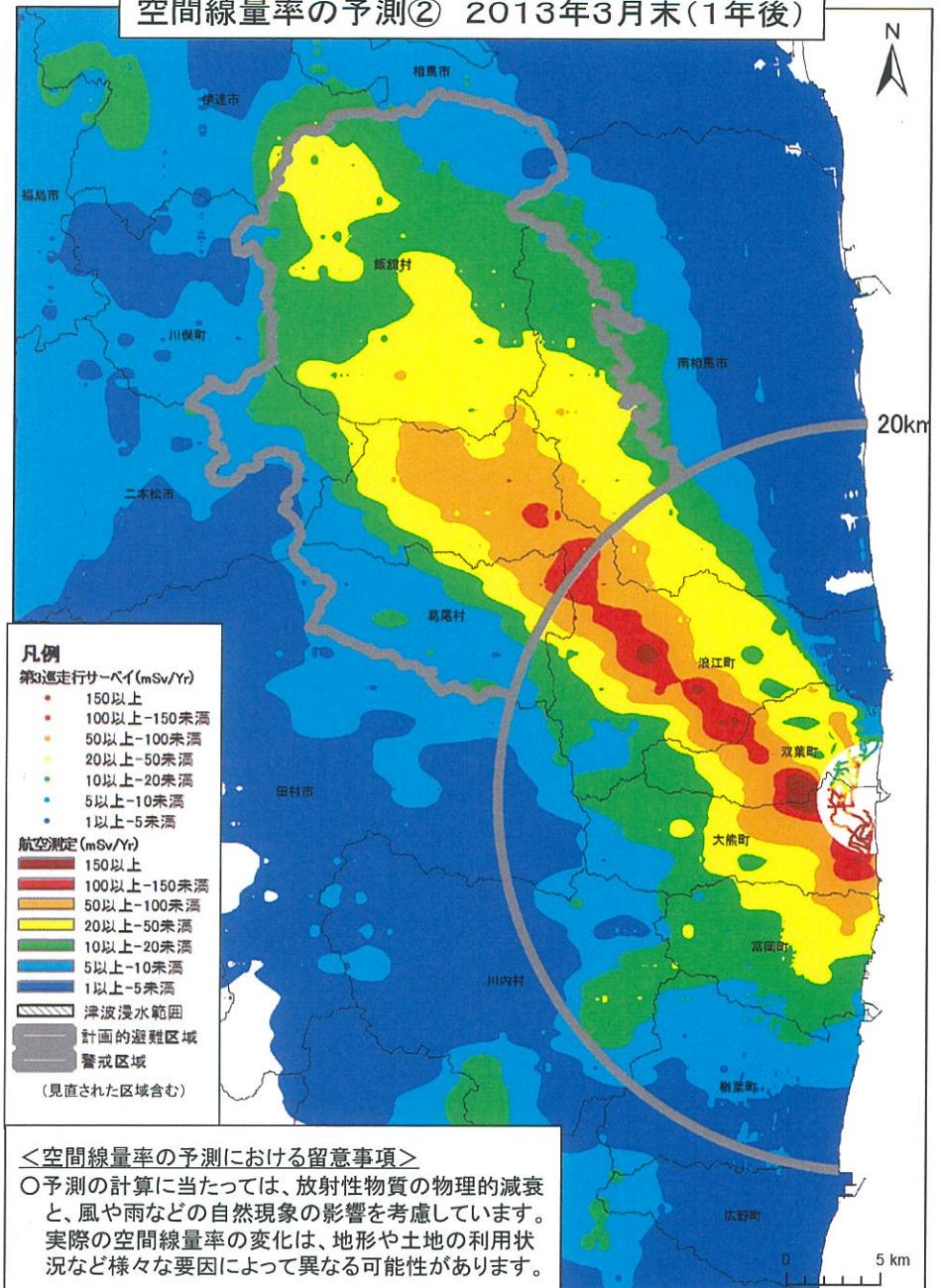


空間線量率の予測① 2012年3月末



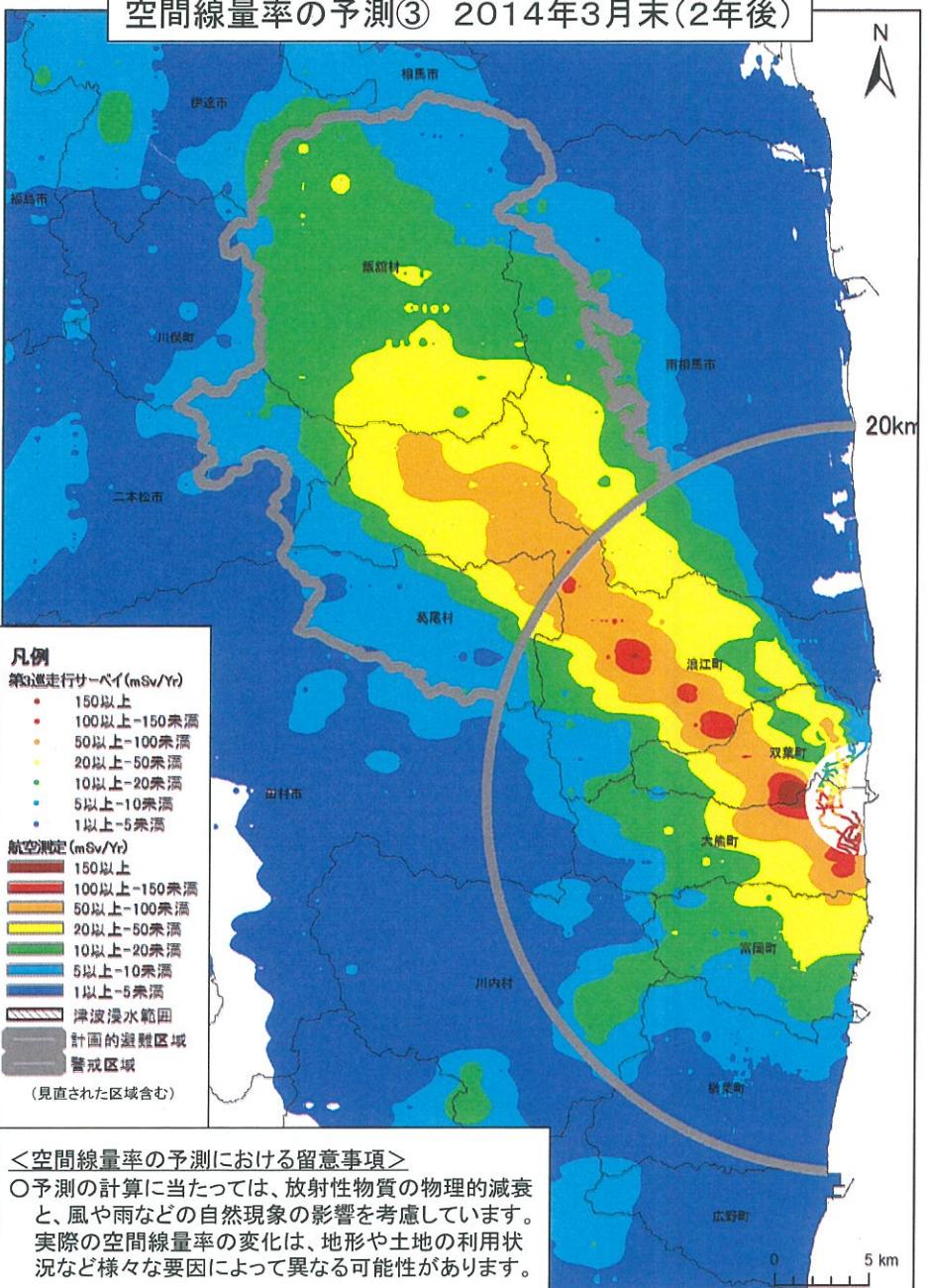
空間線量率の予測② 2013年3月末(1年後)



(11月の航空機モニタリング結果を基に予測)

(11月の航空機モニタリング結果を基に予測)

空間線量率の予測③ 2014年3月末(2年後)

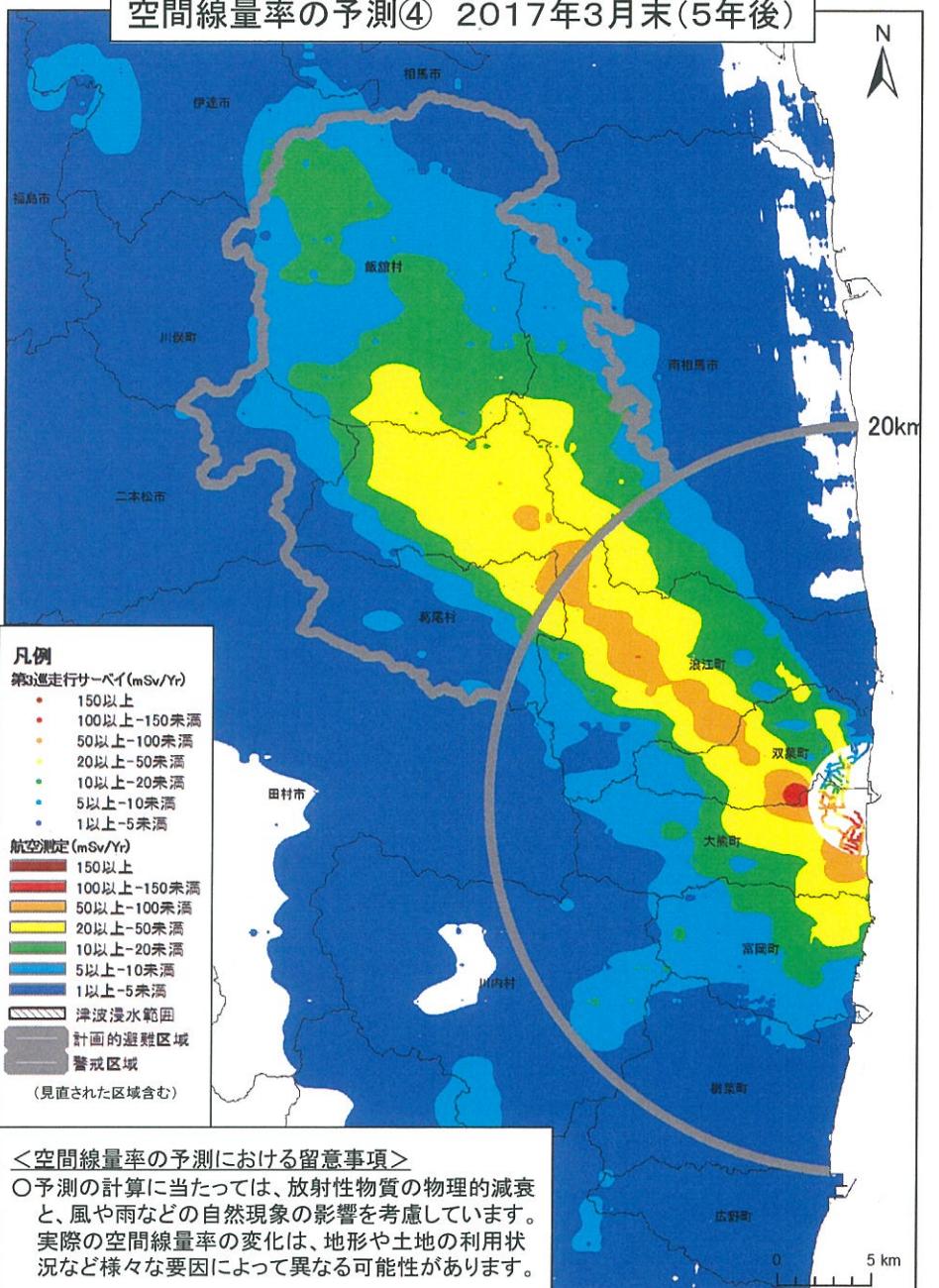


<空間線量率の予測における留意事項>

○予測の計算に当たっては、放射性物質の物理的減衰と、風や雨などの自然現象の影響を考慮しています。実際の空間線量率の変化は、地形や土地の利用状況など様々な要因によって異なる可能性があります。

(11月の航空機モニタリング結果を基に予測)

空間線量率の予測④ 2017年3月末(5年後)

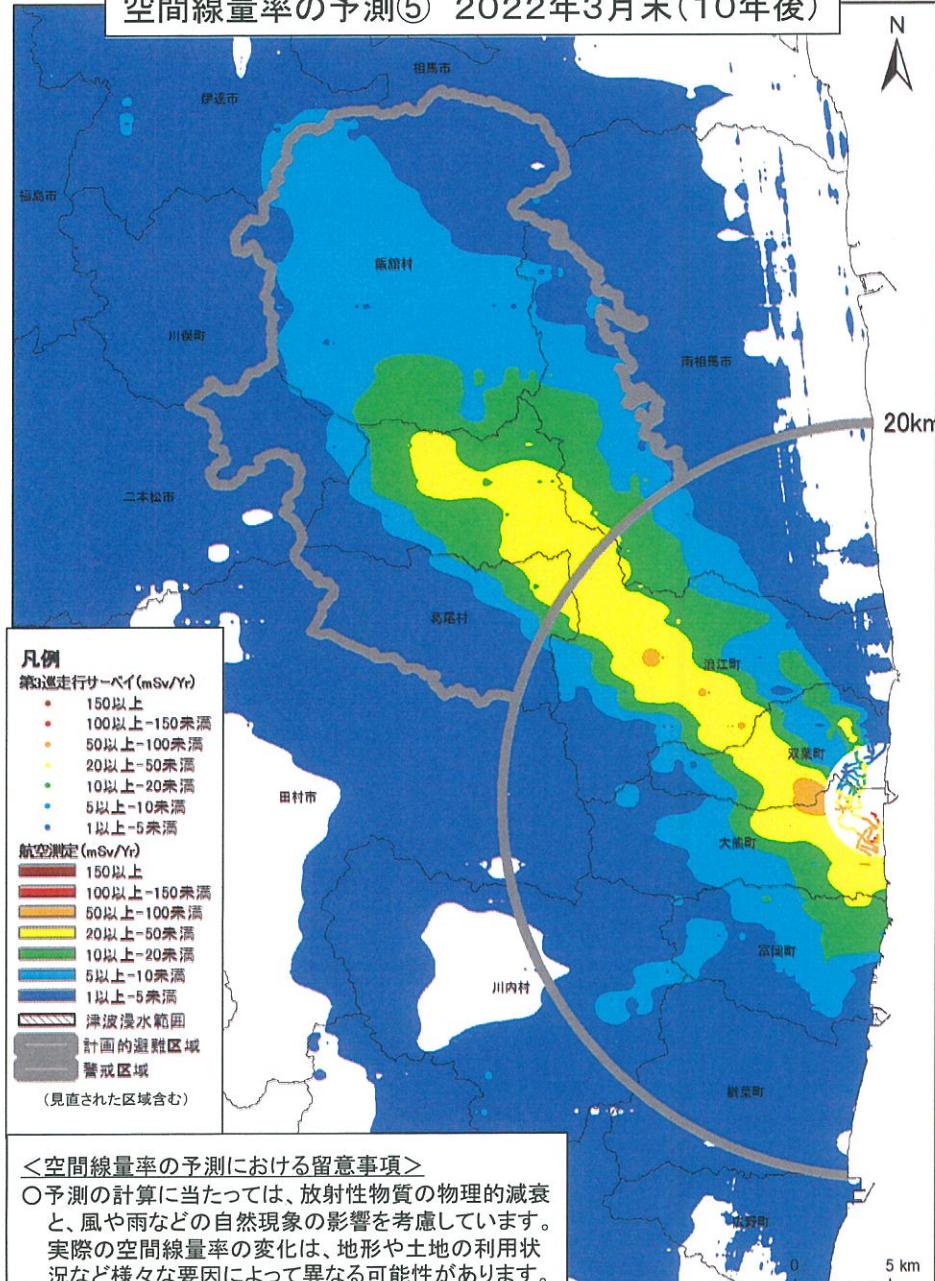


<空間線量率の予測における留意事項>

○予測の計算に当たっては、放射性物質の物理的減衰と、風や雨などの自然現象の影響を考慮しています。実際の空間線量率の変化は、地形や土地の利用状況など様々な要因によって異なる可能性があります。

(11月の航空機モニタリング結果を基に予測)

空間線量率の予測⑤ 2022年3月末(10年後)



空間線量率の予測⑥ 2032年3月末(20年後)

